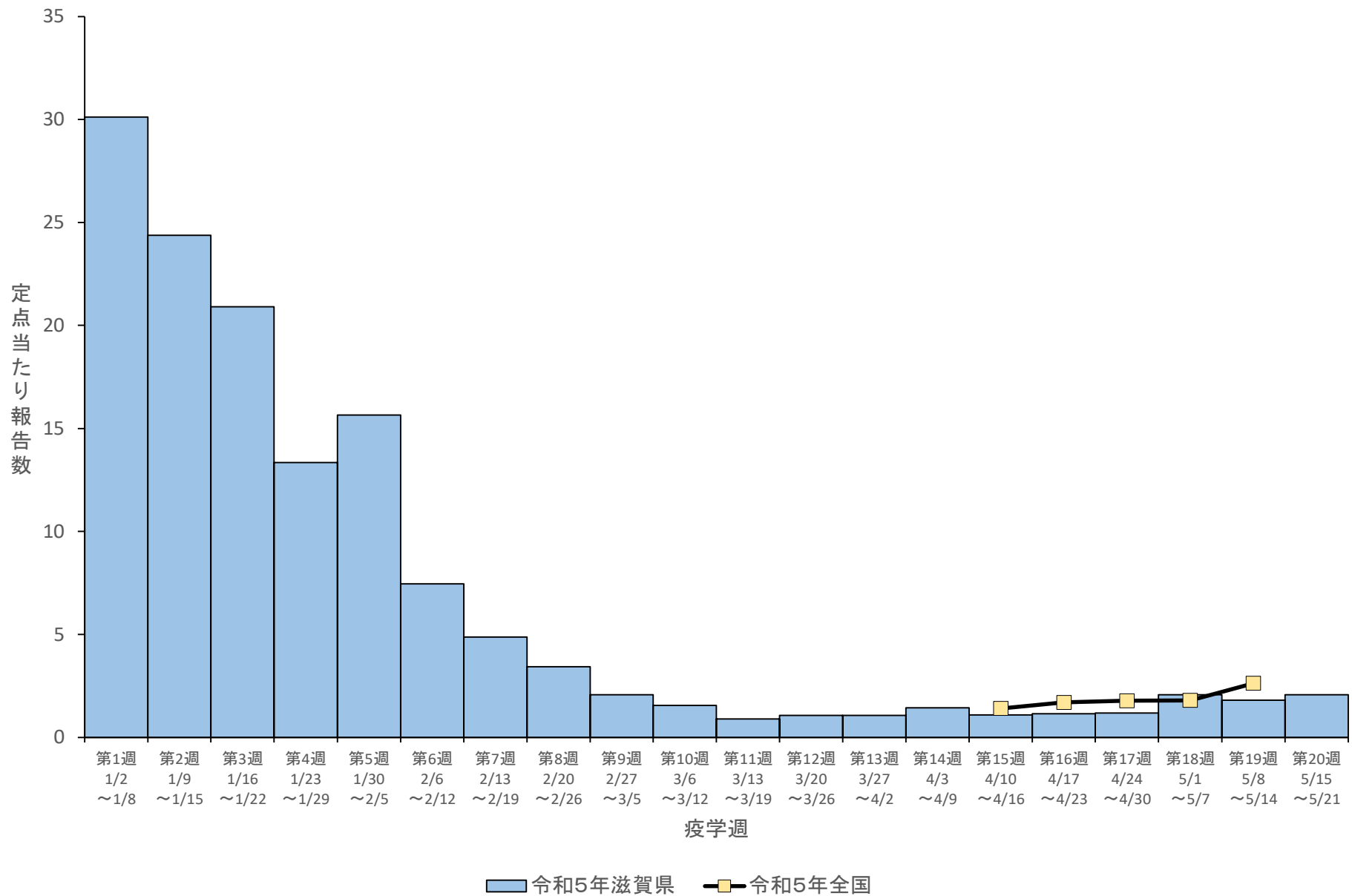


新型コロナウイルス感染症にかかる
県内の感染動向等について

対象期間 5月15日～5月21日

5月25日 健康医療福祉部 健康危機管理課

滋賀県の新型コロナウイルス感染症流行状況 2023年第1週～第20週

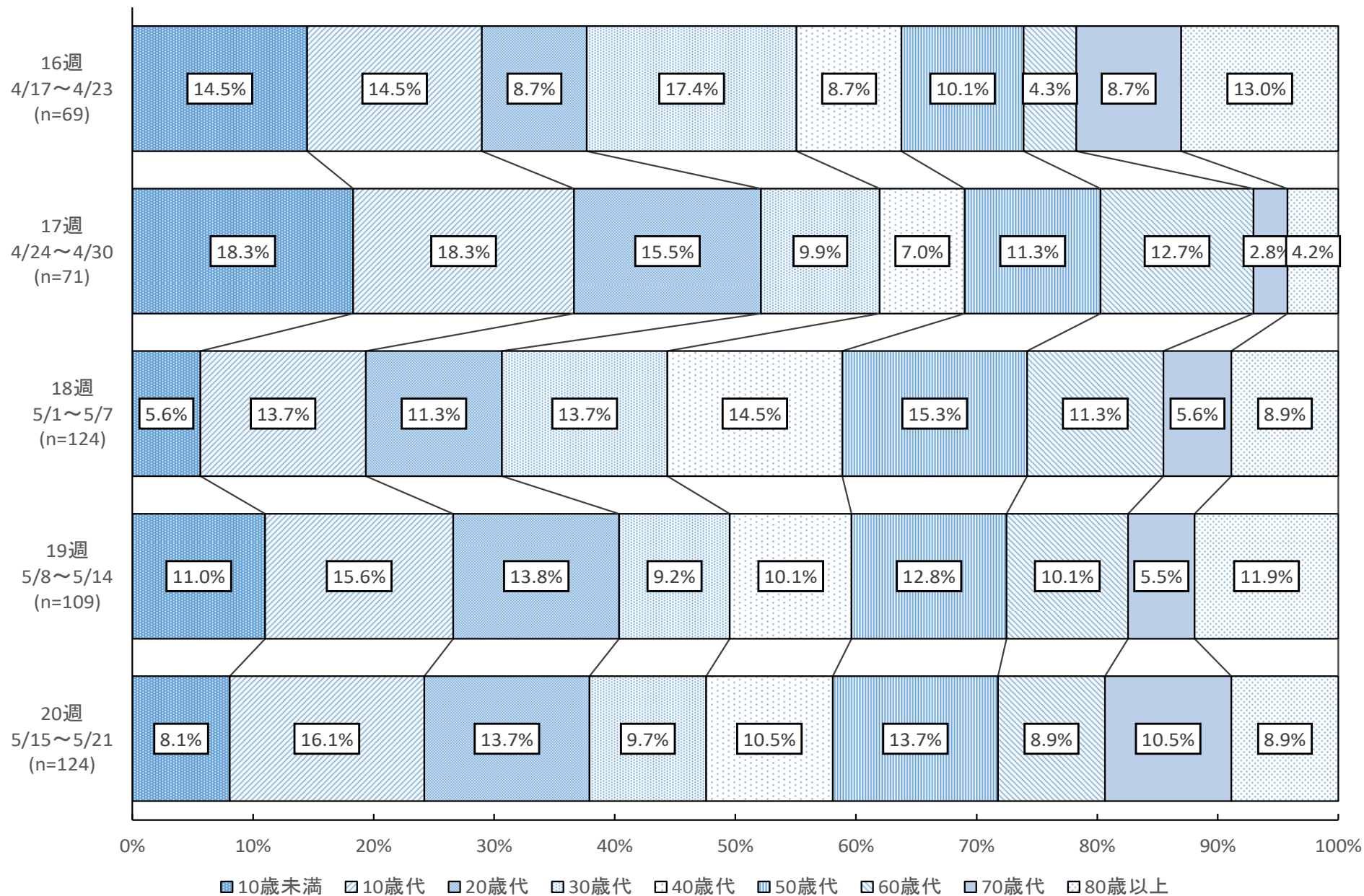


第18週までのデータは各医療機関から報告があった日次報告から定点医療機関分を抽出し計算しています。

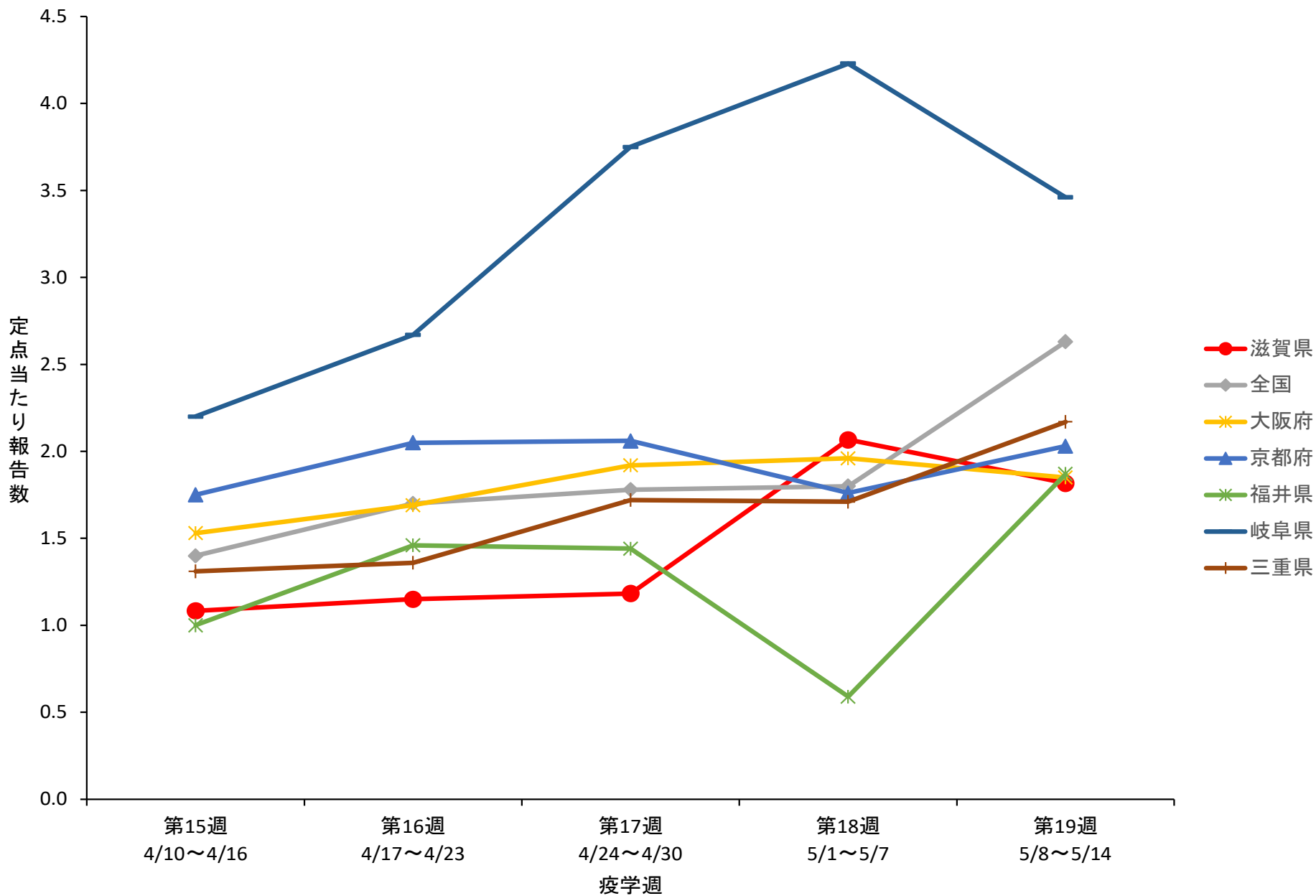
保健所圏域別 新型コロナウイルス感染症の週別定点当たり報告数

		大津市 (定点数:13)	草津 (定点数:13)	甲賀 (定点数:7)	東近江 (定点数:10)	彦根 (定点数:7)	長浜 (定点数:7)	高島 (定点数:3)	合計 (定点数: 60)	今週/ 先週比
第11週 3/13~3/19	定点あたりの報告数	1.77	0.77	0.43	0.30	0.86	1.00	0.67	0.90	0.58
	報告数	23	10	3	3	6	7	2	54	
第12週 3/20~3/26	定点あたりの報告数	2.15	0.54	0.86	0.60	0.57	1.86	0.00	1.07	1.19
	報告数	28	7	6	6	4	13	0	64	
第13週 3/27~4/2	定点あたりの報告数	2.46	0.31	0.86	0.60	0.29	1.29	1.67	1.07	1.00
	報告数	32	4	6	6	2	9	5	64	
第14週 4/3~4/9	定点あたりの報告数	2.38	0.46	1.00	2.10	1.14	1.00	2.00	1.43	1.34
	報告数	31	6	7	21	8	7	6	86	
第15週 4/10~4/16	定点あたりの報告数	2.46	0.54	1.00	0.60	0.57	0.71	1.33	1.08	0.76
	報告数	32	7	7	6	4	5	4	65	
第16週 4/17~4/23	定点あたりの報告数	2.69	0.69	1.43	0.30	0.29	1.00	1.00	1.15	1.06
	報告数	35	9	10	3	2	7	3	69	
第17週 4/24~4/30	定点あたりの報告数	3.31	0.69	0.57	0.50	0.29	1.00	0.33	1.18	1.03
	報告数	43	9	4	5	2	7	1	71	
第18週 5/1~5/7	定点あたりの報告数	6.92	0.92	1.00	0.70	0.29	0.57	0.67	2.07	1.75
	報告数	90	12	7	7	2	4	2	124	
第19週 5/8~5/14	定点あたりの報告数	3.54	1.46	1.86	1.60	1.00	0.86	0.67	1.82	0.88
	報告数	46	19	13	16	7	6	2	109	
第20週 5/15~5/21	定点あたりの報告数	5.31	1.38	2.14	0.60	1.14	0.57	1.33	2.07	1.14
	報告数	69	18	15	6	8	4	4	124	

新型コロナウイルス感染症の年齢構成(直近5週分)



近隣府県別 新型コロナウイルス感染症の発生動向(直近5週分)



県内の感染状況・各指標の状況について(5/21現在)

1) 県内の病床数の状況

病床数	入院者数		空数
		うち重症者数	
368	35	0	333

重症：ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式模型人工肺)が必要な方

現時点の確保病床の占有率※1	9.5%
最大確保病床の占有率※2	7.4%
うち重症者用病床の確保病床の占有率※3	0.0%

※1 現時点で確保している病床数、368床に対する割合

※2 ピーク時に確保予定である病床数、472床に対する割合

※3 ピーク時に確保予定である病床数、40床に対する割合

2) 県内の宿泊療養施設の状況

部屋数	療養者数	空数
52	0	52

宿泊療養施設について：新型コロナウイルス感染症に関する検査結果が陽性であって、入院を要しない場合で重症化リスクを有するなど特別な配慮が必要な高齢者の方が、宿泊療養施設での療養を行っていただく場合があります。

3) クラスターの発生状況について(過去1週間)

※過去1週間に県で確認したクラスターを掲載しています。

直近1週間において、クラスターと認定した事例はありません。

4) 直近1週間の検査数

検査数	3,589件
-----	--------

検査数について：過去1週間に県で確認した検査数を掲載しています。

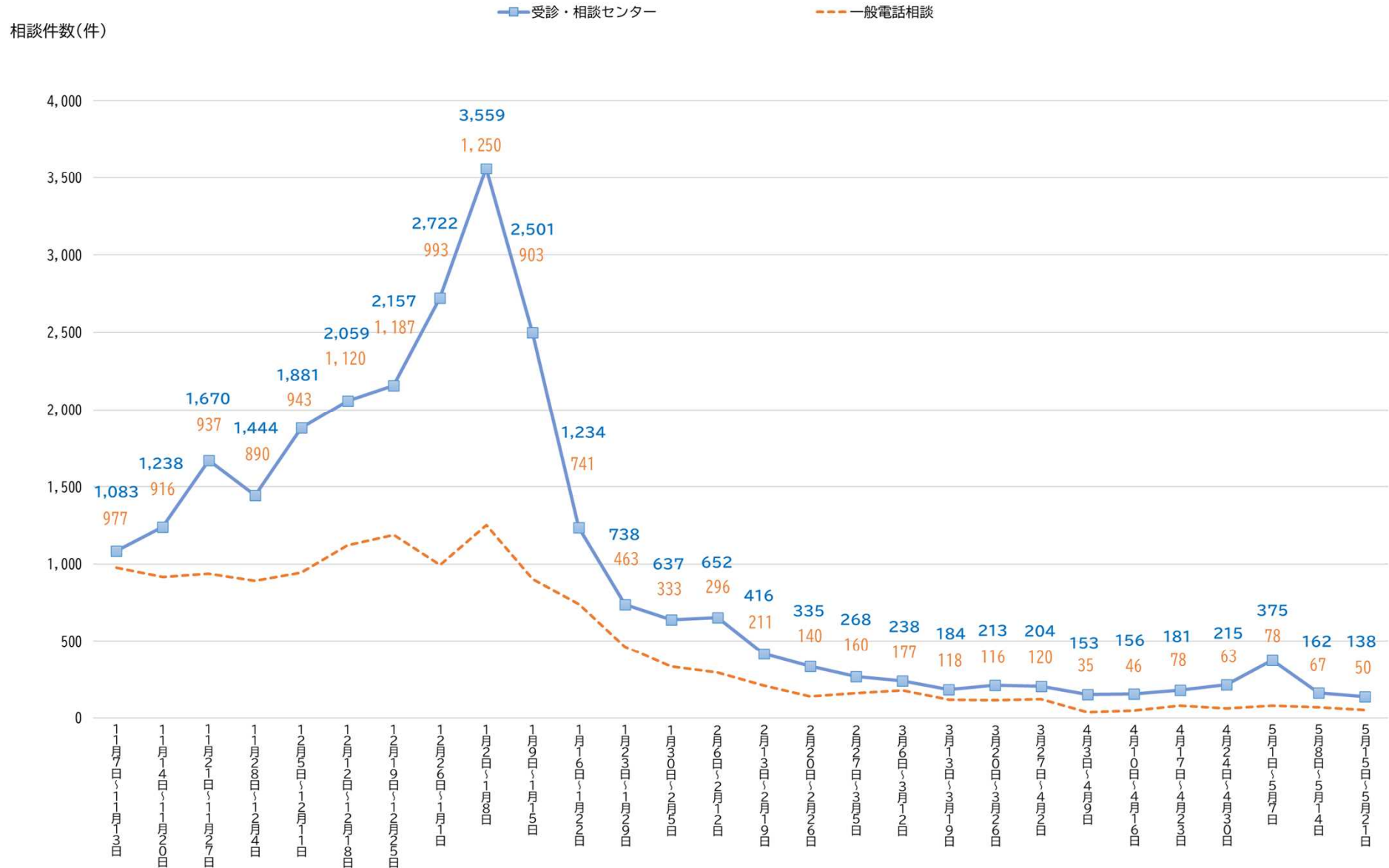
5) 直近1週間の救急搬送困難事案

発生件数	0件
------	----

大津市消防局から報告数を掲載しています。

相談体制について

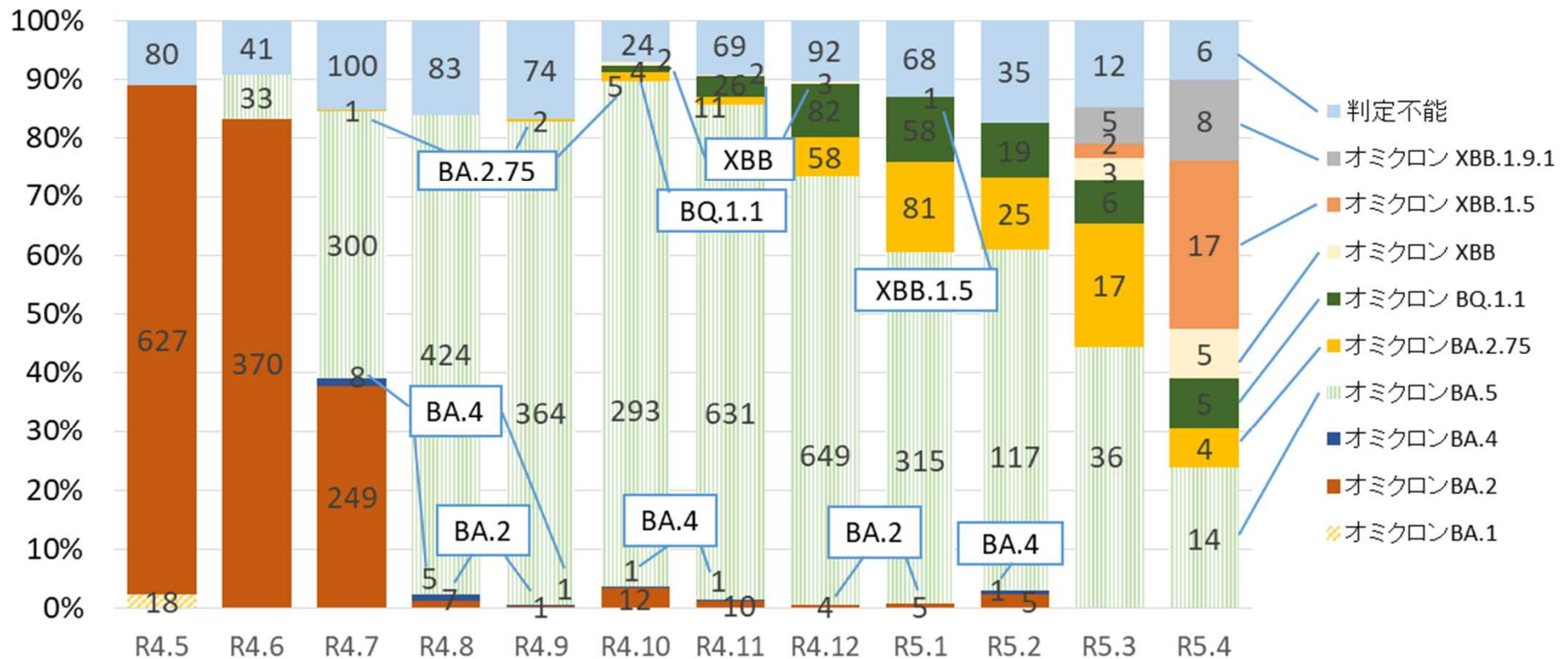
相談件数(週計)



変異株にかかるゲノム解析状況について

- 世界的には、XBB.1.5系統が検出された亜系統の43.8%を占めている。(WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update Edition 143 published 18 May 2023)
- 滋賀県および日本ではXBB.1.5系統の検出割合が上昇傾向にあるが、東京都ではXBB.1.16系統が増加傾向にある。
- 滋賀県では、令和5年4月時点ではXBB.1.5系統(28.8%) およびBA.5系統(23.7%)が感染の主流系統となっている。
- XBB.1.16系統は、XBB.1.5系統よりも広がりやすく、XBB.1.5系統と同様に免疫を逃れる性質は強いが、重症度はデルタ株やBA.1系統、BA.2系統と比べて低いことが示されている。(令和5年5月9日東京大学医科学研究所、WHO XBB.1.16 Initial Risk Assessment, 17 April 2023)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)



評 価(5月15日～5月21日)

- 本県の定点当たりの報告数は、緩やかな増加傾向が見られます。
- 全国、近隣府県においても増加傾向がみられており、今後も本県の増加傾向が続くことが懸念されます。
- 変異株ではXBB.1.5の占める割合が増加してきており、置き換わりの状況が感染動向に与える影響に注視が必要です。